

## 令和4年度 第1回丸亀市環境審議会 議事次第

日時：令和4年8月31日（水）  
13：30～15：30

場所：丸亀市市民交流活動センター  
（マルタス）2階 ROOM3・4

出席：委員13名、（欠席2名）  
事務局6名ほか 受託者5名

### ■次第

#### 1 開会挨拶

#### 2 議事

（1）地球温暖化の背景

（2）本市の地球温暖化対策の概要

（3）地域再エネ導入目標策定業務における市民・事業者向けアンケート（案）

（4）丸亀港周辺から丸亀城周辺までの環境美化の重点的取組み

#### 3 その他

### ■資料

資料1：委員名簿

資料2：地球温暖化の背景

資料3：本市の地球温暖化対策の概要

資料4：市民用・事業者用アンケート（案）

資料5：丸亀港周辺から丸亀城周辺までの環境美化の重点的取組み

### ■議事概要

#### 1. 開会

・市民生活部 田中部長挨拶

#### 2. 議事

（1）地球温暖化の背景

<事務局（委託業者）>

・資料2の説明

（2）本市の地球温暖化対策の概要

<事務局（委託業者）>

・資料3の説明

・市域全体の調査事業の概要についての説明を行ったが、市ではこの調査に合わせて、公共施設等の取組みをまとめた「丸亀市環境保全率先実行計画」の改訂を、令和5年度中に予定している。

### 【質 疑】

<委 員>

説明のあった再生可能エネルギー事業によりゼロカーボンにしていく説明だったが、機械的にCO<sub>2</sub>を減らせるものは良いが、生活活動から出てくるCO<sub>2</sub>は減らせない

と思う。どのようにすればよいか考え方が説明に出て来なければならないのではないのか。例えば、グリーンカーボンやブルーカーボンの説明が一切ない。森林資源をどうするのか、沿岸の海藻資源をどうするのかという説明が必要であると思う。

<事務局（委託業者）>

現在の資料の中にはグリーンカーボンやブルーカーボンに関する記載はない。グリーンカーボン、森林吸収量についてはこれから取りまとめて計画に反映する。ブルーカーボン、海藻の吸収量についてはまだ研究段階であり、これから計算手法等が確立されたら計画に反映していくことになる。

本日の資料にはグリーンカーボンやブルーカーボンに関する記載がないが、今後の会議で配付する資料に反映する予定である。

### （3）地域再エネ導入目標策定業務における市民・事業者向けアンケート（案）

<事務局（委託業者）>

・資料4の説明

#### 【質 疑】

<委 員>

事業所用アンケートの中に削減目標の有無に関する設問を追加してほしい。

<事務局（委託業者）>

問4の後に追加する。

<委 員>

事業所用アンケートの問12の※印の内容は、香川県が香川県環境保全公社に委託して行っているため、「香川県では、公益財団法人香川県環境保全公社が、」に修正してほしい。

また、市民用アンケートの問7の選択肢2の文中の「温度」を「室温」に修正してほしい。

<委 員>

市民用アンケートの問3の回答数を1つに限定しているが、複数回答でも良いのではないか。問3だけに限らず、類似する他の設問も同様である。

<事務局（委託業者）>

シングルアンサーとマルチアンサーの違いは、シングルアンサーについては傾向が良く見えることで、マルチアンサーについては傾向が見えなくなることがあるということである。ここでは、傾向を把握したかったのでシングルアンサーとした。ただし、この設問内容であれば、回答数を2つとしても問題はないと考える。

問3については回答数を2つとすることで良いか。

<委 員>

問3だけではなく、他の設問についても検討をお願いしたい。

<事務局（丸亀市）>

シングルアンサーにするのかマルチアンサーにするのかについては、アンケートの設問内容に基づき使い分けたいと考える。

傾向を見たい設問についてはシングルアンサーとしたいと考える。

<委 員>

回答数については事務局で精査をお願いする。

<委員>

アンケートの設問は、再生可能エネルギーを導入させることを目的としたものか。

<事務局（委託業者）>

地球温暖化対策という話の中で、現在取り組んでいる省エネルギーと再生可能エネルギーの内容について聞きたいと考えている。ただし、今後取り組んでもらう内容が再生可能エネルギーに偏っているかもしれない。省エネルギーの中でも効果の高いものについては盛り込み、啓発したいと考えている。

本業務の目的は再生可能エネルギーを最大限導入するための目標を決めることであるため、アンケートの設問についても再生可能エネルギーを中心に省エネルギーも加味した内容となっている。

<委員>

アンケートの配布先は無作為抽出で選んだのか。また、回答率を上げるために何か行っているか聞きたい。

あと、市民用アンケートの間 14 で、丸亀市に向いていない、導入ポテンシャルの低い再生可能エネルギーがあると思うが、間 14 を設定した意図を聞きたい。

<委員>

丸亀市に向いていない再生可能エネルギーとはどういったものがあるのか。

<事務局（委託業者）>

中小水力発電や風力発電である。

<事務局（委託業者）>

アンケートの配布先で、市民については、各地域の年代別人口割合比を用いて無作為抽出している。事業所については、商工会に登録されている事業者の中から業種別に一定の従業員数以上の事業者を無作為抽出している。あと、回答数を上げるためにWEB回答を可能としている。

設問 14 を設定した意図は、丸亀市が再生可能エネルギーを導入するにあたり、市民が要望する再生可能エネルギーを把握するために、丸亀市に向いていない再生可能エネルギーを含めて設定した。この設問については、太陽光発電以外に市民が何を要望するのかを把握するために選択数を2つとした。

<委員>

市民は再生可能エネルギーに関する知識を多くは持っていないと考えられるので、再生可能エネルギーのメリットやデメリットを示すなどの工夫が必要ではないか。

<事務局（丸亀市）>

市民は再生可能エネルギーのポテンシャルに関する情報を知らないため、水素や風力など耳にしたことがある再生可能エネルギーを選択すると考えるが、今回はその結果を踏まえて、ポテンシャル調査結果が出たときには、最もポテンシャルがあるのが太陽光発電であることを市民に周知し、太陽光発電の導入に繋げていければと考えている。

<委員>

太陽光発電ありきのように聞こえる。設問の意図がわからない。

<委員>

中小水力発電については、以前丸亀市が水道用水を使って計画したことがあるはずであり、水源の供給者と大手の電力会社がかもめて立ち消えとなった経緯がある。今になって中小水力発電を立ち上げて大丈夫なのか。

<事務局（丸亀市）>

県管理であるが、市内において小規模な水力発電を行っている。別の水力発電に関する話は聞いていない。

<委員>

丸亀市が導入することなのか市民が導入することなのか分かりづらい。市民が導入することが可能なのは太陽光発電しかないのではないか。

<委員>

問13で市民が導入する再生可能エネルギーについて聞いているので、問14は市が導入する内容だとわかるのではないか。

<事務局（委託業者）>

主語が不明確ということについて見直す。

<委員>

参考資料で、水素発電は再生可能エネルギーではないため、タイトルを「再生可能エネルギー等について」に修正するとともに、それ以降についても同様に修正すべきである。

また、参考資料の種類と概要で、太陽光発電では「3～4キロワットで、平均的な4人家族が使用する電気の大部分をまかなうことが可能です」と数値を使った例示の記載があり、わかりやすい。記載のないエネルギーについても数値を使ったわかりやすい例示の記載をお願いしたい。

<委員>

市民用アンケートの問7では取り組んでいる内容を聞く設問であり、問8は取り組みにくい理由を聞く設問となっている。問8の意図を教えて欲しい。

また、地球温暖化とカーボンニュートラル、再生可能エネルギーに関する設問が混在しているため、体系的に整理する必要があるのではないか。

<委員>

新電力会社が次々と撤退するなかで、市民用アンケートの「6. ご自宅の電気契約について」の問20、問21は必要か。

<事務局（委託業者）>

問8、問20、問21については再検討する。

また、設問の順番等についても再検討する。

<委員>

事業者用アンケート配布先の抽出方法について、先程の説明では従業員数の多い事業者を対象としたように聞こえたが、その理由は何か。

<事務局（委託業者）>

従業員数の少ない事業者は、地球温暖化対策の実施が困難と想定されるためである。

<委員>

従業員数の多い事業者だけが取り組んでも効果は少ないと思うので、従業員数の少ない事業者も含めたほうが良いのではないか。

また、設問10の主語が「あなた」になっており、「貴社」に統一すべきではないか。

あと、最後の自由意見についてはどのように取り上げるのか。

<事務局（委託業者）>

問10については「貴社」の間違いなので修正する。

参考となる意見については取り上げていく。また、自由意見の中にヒントがあるケースもあるので、自由意見は必要だと考えている。

<委員>

丸亀市環境審議会の議題は、今後地球温暖化防止に関する内容だけなのか。

<委員>

今回は地球温暖化防止に関する内容だが、今後この内容の議題だけではない。

丸亀市として地球温暖化防止は重要であり、今回環境審議会の意見を聞きたいとのことなので議題とした。

<委員>

地球温暖化防止のためには脱炭素が重要であり、そのためには再生可能エネルギーの導入が必要であるという短絡的な流れとなっている。

以前関連業務に務めていた時の話ではあるが、丸亀市を含む香川県は風力・水力・地熱はゼロである。少しはあっても採算的に難しい。再生可能エネルギーの対象として含まれているのはおかしいのではないか。

あと、アンケートの内容は他の市町村でもそのまま使えるような内容となっており、丸亀市特有の内容を抽出できる内容とすべきではないか。

<委員>

丸亀市特有といえばため池であり、ため池を活用した太陽光発電について聞くということもあるのではないか。ただし、ため池を活用した太陽光発電の場合、台風が来た時の問題や太陽光パネルの主要生産国がCO<sub>2</sub>を大量に排出している中国であることの問題などがある。

<委員>

市街化が進んでいる地域は没個性化することはやむを得ないと考えるが、丸亀市の地域特性を反映すべきだと考える。

また、事業者アンケートの対象者を従業員数で絞り込みすぎないほうが良いと考える。

<事務局（委託業者）>

今後、丸亀市の特徴を活かせるような設問について、検討する。

<委員>

香川県の場合、大半が中小企業のため、アンケートの送付先を従業員数の上位から選定するのではなく、従業員数を指標として3グループに分けて、その中から無作為に抽出するなどの検討が必要ではないか。

あと、エネファームに関する設問がないので、設問を追加してはどうか。

<委員>

次回の会議は11月を予定しているが、11月もこの内容を議論するということか。

<事務局（丸亀市）>

次回の会議では、もう少し進んだ内容を議論してもらおう予定である。

アンケートについては9月中に回収予定であり、本日の意見については検討する予定である。アンケート配布前に再度会議を開催することは困難である。

修正した結果についてはアンケート配布前に周知する予定である。

<委員>

各委員については、アンケートの内容について持ち帰って再確認をお願いしたい。意見等があれば、市の方にメール等で伝達してほしい。

<事務局（丸亀市）>

意見については9月6日（火）までに提出してほしい。

#### （4）丸亀港周辺から丸亀城周辺までの環境美化の重点的取組み

<事務局（丸亀市）>

・資料5の説明。

#### 【質 疑】

<委 員>

ごみのポイ捨ては法的な罰則はあるのか。

<委 員>

近くでポイ捨てに悩む場所に、罰金〇〇円などと表記した看板を設置すると効果があることがあった。

<委 員>

区域設定しようとしている地域に古い看板が見受けられる。新しくしてみてもどうか。

<委 員>

区域設定しようとしている地域、人通りが少ないが必要なのか。

<委 員>

それほど汚れている印象はない。

<委 員>

重点区域として、丸亀港から丸亀城周辺までが適切かどうか、委員としての意見を聞かれても判断が難しい。市民に対してアンケート等で聞いてはどうか。

<事務局（丸亀市）>

- ・ポイ捨てについては法的な罰則の対象である。
- ・看板は確かに古びたものが見受けられる。
- ・それほどゴミが落ちていないのは、朝に住民や店舗の方が掃除するなどの成果かもしれない。
- ・美化等重点区域については、継続審議をお願いしたい。

### 3. その他

### 4. 閉会

以上